

令和5年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	教育委員会事務局生涯学習課	
施設名称	34 東京都台東区立社会教育センター	指定管理者	J N共同事業体	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定期間	R4.4.1	～ R9.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 社会教育の振興を図るため、区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、その学習活動・組織活動を促進する。
(2)	[所在地] 台東区東上野6-16-8 [規模] 延床面積1,689㎡ RC造 ホール(130名)、会議室(40名)、和室(20名)、調理室(32名)
(3)	[委託事業] ①社会教育センターの管理運営 ②各種社会教育学級・講座・研修・講習会等の実施 ③社会教育に関する資料収集・情報提供 [自主事業] 地域の繋がり文化イベント、学ぶ機会を広げる講座、サークルフェスタ等実施
(4)	[利用者] 社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。教育委員会や社会教育館が行う行事に参加する区民。その他一般団体。 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 【開館日】火～日曜:午前9:00～午後10:00 第2・4月曜:午前9:00～午後10:00 第1・3・5月曜:午後1:00～午後10:00 【休館日】年末年始(12/29～1/3) 設備点検日
(6)	[人員体制] 12名 (内 訳) 統括責任者兼台東区社会教育センター責任者(1) 統括副責任者兼教育事業統括(1) 統括副責任者(1) 維持管理責任者(1) 受付・庶務(6)、教育主任(1)、教育担当(1) (前年増減) 1名増(統括副責任者+1)

2. 予算決算		R3予算	R3決算	R4予算	R4決算
収入	委託料(指定管理料)	84,015,000	84,857,904	84,258,000	84,336,721
	利用料金収入	2,590,000	1,370,190	2,449,000	2,208,195
	その他収入()	0	0	0	0
	計	86,605,000	86,228,094	86,707,000	86,544,916
支出	人件費	39,076,000	40,058,995	37,442,000	37,448,385
	光熱水費	6,733,000	5,750,372	6,733,000	8,465,409
	維持管理費(委託料・賃借料)	32,723,000	32,048,830	35,836,000	35,490,076
	修繕費	827,000	1,501,170	916,000	512,325
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(消耗品や印刷製本費、保険料など)	7,246,000	6,314,080	5,780,000	6,436,961
計	86,605,000	85,673,447	86,707,000	88,353,156	
収支			554,647		-1,808,240

3. 活動指標	単位	(目標値)R6年度	R2年度	R3年度	R4年度
年間開館日数	日	354	295	338	352
自主事業等講座	講座	16	4	9	13

4. 成果指標	単位	(目標値)R6年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用率	%	48.0	33.5	39.9	44.0
利用人数	人	26,000	9,376	13,315	21,446

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

利用者アンケートや懇談会及び学習相談により利用者からの意見・要望を把握している。また社会教育センターに統括副責任者を置き各社会教育館との連携を強化したことで業務効率向上を実現し、人件費上昇の影響を最小限に抑えられている。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書、事業報告書等は適正に作成され、遅延なく提出されている。施設設備の故障があった際は、速やかに報告、対応がなされ、適正な管理運営ができています。新型コロナウイルス感染防止対策も継続して行われている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
18 / 20 点	職員の業務を明確にし、効率的な人員配置を行った。新型コロナウイルス感染防止のため中止していた利用者懇談会を再開し、利用者の意見・要望を踏まえた適切な事業運営が行われているが、応募数が少なかった講座の周知方法等の見直しが必要である。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	設備の不具合を把握し、適切な維持管理が行われている。正面玄関等の外構の汚泥清掃及び柵のクラック補修等を実施している。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	新型コロナウイルス感染防止対策で中止していた利用者懇談会を再開して、寄せられた意見・要望に対応し、調理器具のメンテナンス等のサービス向上を行っているが、アンケート回収率の向上や利用者の要望を把握する方法について引き続き検討する必要がある。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
15 / 20 点	利用料金収入は新型コロナウイルス感染対策の緩和に伴い、徐々に増収となってきているが、電気・ガス料金の高騰により光熱水費の支出が増え、収支がマイナスになっている。省エネ対策を徹底し、光熱水費削減への取り組みが必要である。
(6) 優れた取り組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

良好 (91 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>利用者アンケートから、スタッフの接遇や備品・設備、施設の快適さは良好であると評価できる。光熱費の高騰については節約に取り組むとともに、令和5年度以降、指定管理料予算の積算に反映させている。</p>	<p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>実施している講座の周知方法や利用者アンケートの実施方法に課題がある。また、電気・ガス料金の高騰により光熱費の支出が増え、収支がマイナスになっていることが主な要因である。</p>
--------------------	---	---